

やまがた 中小企業

山形県中小企業団体中央会

URL <http://www.chuokai-yamagata.or.jp>

齋藤知事を招き商店街の現状を訴える！… 1
専門委員会開催される！…………… 2
青年中央会総会開催…………… 2
適格退職年金制度から中退共制度へ移行ができます… 2
市町村合併に伴う定款変更の手続きについて… 3

「中小企業新事業活動促進法」の概要… 4
山形県食品産業協議会平成17年度通常総会が開催… 6
平成17年度組合研究会、モデル組合事業の募集のご案内！… 6
経営危機突破緊急キャンペーン実施中！… 6
平成17年度各種講習会実施のお知らせ… 7

平成17年度
2号

齋藤知事を招き商店街の現状を訴える!



齋藤知事

7月21日(木)山形市「山形ワシントンホテル」において、山形県商店街振興組合連合会(大泉好理事長:会員数22名)の第1回商店街交流会が、齋藤弘知事を迎え開催され、大型店の郊外出店の影響による中心商店街の空洞化等厳しい現状を訴えた。

はじめに、大通り商店街振興組合の池田健一理事長より、酒田大火後モール整備を実施したが、交通事情の変化に伴い商店街への導線が悪く入りにくい現状と、建設が進む三川町の大規模ショッピングセンターについては、庄内エリア全体で仕



大泉理事長

組み作りを考えるよう要望が出された。続いて、協同組合北本町昭和会井上光雅理事長からは、商店街の核となっていた「こびあ新庄店」(旧ダイエー新庄店)撤退後の建物の活用、アーケード等商店街で取得した施設の維持費の負担の在り方や高度化資金返済の困難な状況について説明があった。次に、米沢市平和通り商店街振興組合尾原英明理事長からは、市街地再開発事業の難しさについて現状報告があった。

これに対し齋藤知事は、「高齢化に伴う中心市街地人口の増加、地域活性化に向けた交流人口増大等により商店街が再評価される時期がまもなくやって来る。」と述べ中心商店街の果たす役割の大きさを挙げた。

また、菊地健太郎青年部部長からは、全国各地で制定されつつあるまちづくりの推進に関する条例について説明があり、県としても前向きに検討していきたいと語った。